

<プレスリリース>

囲碁が結ぶ総合コミュニケーションの新たな展開

公益財団法人 日本棋院と 国立大学法人 電気通信大学が コンピュータ囲碁の進化に向けた提携に調印！

2012年6月吉日 電気通信大学 広報

拝啓

初夏の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

コンピュータ囲碁は、2006年ころにモンテカルロアプローチという革新的技術が登場し急速に棋力が高くなっています。今年3月に電気通信大学で開催された『**コンピュータ囲碁がプロ棋士に挑戦！**』という企画では、世界最強のコンピュータ囲碁プログラム「Zen」が、日本棋院に所属する武宮正樹九段に5子と4子の置碁で挑み、2連勝を収め、注目を集めました。

電気通信大学では、毎年、「**UEC杯コンピュータ囲碁大会**」を開催し、コンピュータ囲碁の講習会を企画するなど、国内外のコンピュータ囲碁研究の発展と普及に努めてきました。また、日本棋院もこれらの大会やイベントにプロ棋士を派遣し、技術の発展に寄与してきました。

古くから「棋は対話なり」という言葉があるように、日本の伝統文化である「囲碁」は、人間の高度なコミュニケーションの一形態であると考えられます。囲碁をプレーするコンピュータの開発を通して得られる知見は、まさに電気通信大学が希求する総合コミュニケーション科学の研究分野であると考えます。

ここに、高度なIT技術と日本の伝統文化である囲碁がコラボレーションすることで、囲碁文化の発展と新しい総合コミュニケーション科学の展開を目指していくこととなり、提携を結ぶこととなりました。

具体的には、以下の概要にあるように、コンピュータ囲碁の大会、コンピュータ囲碁とプロ棋士の公式対局イベントの開催、プロ棋士を交えた囲碁の幅広い研究、囲碁を題材とした授業の展開などを共同で行っていくこととなります。

来たる6月22日11時から日本棋院市ヶ谷本院にて、その調印式がとり行われますので、お知らせ申し上げます。

敬具

提携概要

コンピュータ囲碁プログラムの進化・レベルアップを通して情報通信技術、認知科学及び囲碁界の発展に寄与することを目的として、以下のことを共同して行っていく。

- 1) UEC杯コンピュータ囲碁大会の開催
- 2) プロ棋士と囲碁プログラムの公式対局イベントの開催
- 3) プロ棋士を交えた囲碁の研究
- 4) 囲碁を題材にした授業の検討

【お問合せ先】

国立大学法人 電気通信大学

エンターテインメントと認知科学研究ステーション 代表 伊藤毅志

E-mail:ito@cs.uec.ac.jp、電話:090-8103-5795

公益財団法人 日本棋院

インターネット事業部 林

電話:03-3288-8071